



りすぐみだより

新緑がまぶしい季節になりました。子ども達も、外の空気をめいっぱい吸い込んで、元気にかけ回っています。新しいクラスになり、あっという間に1ヶ月が経ちました。最初は不安な顔の子も多く見られましたが、今ではすっかりりすぐみになじんでいます。

クラスのお友達の名前と顔を覚えた子が多くなりました。朝登園してくると「〇〇くん、おやすみ?」「〇〇ちゃんは?」という声も聞かれます。

また、お友達の様子が気になり始めた子ども達。そばに行って、同じおもちゃを使いたがるなど、関わりが日に日に広がっています。その分、おもちゃの取り合いなどのトラブルも増えてきましたが、これは友達との関わりを育てる大切なチャンス。一人ひとりの気持ちを受け止めながら、見守っていきたいと思います。



「おそといく?」

園庭で遊ぶ機会が増えたことが嬉しいようで、「きょう、おそといく?」と保育士に確認している姿があります。「いくよ」とこたえると、靴下と帽子を自分で取りに行く子も見られます。園庭に出ると、楽しそうに走り回ったり、虫探しをしたりして遊んでいます。お兄さんやお姉さんがてんとう虫などを捕まえて、砂場のおもちゃのお皿に入れている様子をマネして、お皿を持って虫探しを楽しんでいます。「てんとうむしいたよ」と保育士が捕まえて見せると、触れない子も興味津々で見に来る姿が可愛いです!



『でんしゃ』

部屋を移動するとき、お外に行くときなどはグループごとで、1列に並び、前の子の肩に掴まって『電車』になり、連結して歩きます。「〇〇グループさん、△△いくよ～」と声をけると、「ガッチャン」と前の子の肩に掴まって上手に歩けるようになってきました。「上手!」と褒めると、自慢気な表情の子ども達が微笑ましいです。

また、席を立ったときに、何も言わなくても椅子を入れられることが増えてきました! りす組での生活に慣れてきて、自分からやろうとする積極的な姿も少しずつ見られるようになってきました。